

C200 HD. Broadcast.



**The in-line digital production
console for broadcast**

C200 HD. This is SSL.

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N

Console Overview

C200 HDは、歴史に洗練された親しみやすいインラインスタイルの
コントロールサーフェイスの高い操作性に、SSL伝統の高音質とデジタルならではの
機能性を合わせ持った先進のデジタルコンソールです。

Broadcast/live production

C200 HDは、SSLの高い実績のあるCシリーズで培われたブロードキャ
ストでの経験を元に作られました。ブロードキャストに特化した機能群
に加え、拡張性や信頼性、冗長性を念頭にデザインされています。
C200 HDは、CBS、Radio France、NTVといった国際的なネットワ
ーク局のモノ、ステレオ、5.1 HDTVの制作現場で毎日使用されている、
最も成功している最新のデジタルコンソールです。

Audio quality

他の全てのSSLコンソールと同様に、高音質であることはコンソールの
基本です。C200 HDは96kHzでのオペレーションも可能なSSLの
Centuriプラットフォームを最大限に活用できます。

また、全てのチャンネルに等しくEQ、FilterとDynamicsを装備して
おり、いつでも同時に使用可能です。

Scalable, future-proof solutions

C200 HDは最大256フェーダーまで持つことができる、
拡張性の高いコンソールです。トータル512のオーディオ
入出力と60のGPIOを15UのCenturiコアユニットで1台
で扱え、省スペース、省コストに貢献します。

リモートのマイクソースは、ファイバリンクで接続されるリモート
ステージボックスで扱うことができます。これにより1つのプロダク
ションルームから複数のスタジオの素材をコントロールすることがで
きます。チャンネルDSPやオーディオ入出力基板の構成は、将来のスタ
ジオ作業内容の変化に合わせて簡単に拡張できます。

Resilience

- 高い信頼性と安定性を提供するために、汎用の部品を使用し、かつ
全てのハードウェア、ソフトウェアの設計をSSLが管理しています。
- セルフヒーリング機能付DSPは、自己監視機能によりユーザーへ異
常の可能性を警告しつつ異常状態から自動的に復帰します。
- 電源、DSP及びファイバラインは二重化されており信頼性を確保
しています。
- 電源再投入によるハードウェア、ソフトウェアの起動は1分以内に
完了する早さです。また、コントロールパネルは音声に影響を与え
ることなく再起動できます。
- コントロールパネルは自己診断機能を持ち、異常発生時に冗長性を
持つ設計となっています。

Advanced Hardware Control Surface

マスターペイ

- ベイスワップ機能で任意のペイ(8チャンネル単位)
をセンター近くのマスターペイに呼び出し可能。
- 小さいコンソールでは、バーチャルペイとして
DSPの処理能力をフルに利用できる機能を提供。

5.1 ‘マスターコンプレッサー’

- マスターフェーダーとインサート
ポイントに加え、コンソールの
プログラムアウトには
SSL4000シリーズコンソールの
“QUAD”コンプレッサーも
選択できる5.1コンプレッサー
を装備しています。

オーディオマスターコントロール

- AuxやGroupなどバスマスターの
各レベルコントロールやルーティン
グはセンターセクションのマスターオ
ディオコントロールパネルから一元的
に操作できます。
- AuxマスターとFXリターンは外部エフ
ェクターなどへのルーティングはワン
オペレーションで簡単に行えます。

ステータスロック機能

- ステータスロック機能に
より、Solo-in-placeや
Automation機能、コン
ソールのステータス切り
替えなどを動作禁止にで
きます。

カスタムメーリング

- センターセクション
のメーターパネル
はVU、PPM、
PhaseScopeなど
自由に選択して
カスタマイズする
ことができます。

視認性の高いLCD画面による表示系

- チャンネルメーターはラージ、スモールまたコンソールのレイヤー
A、Bの入力信号を同時にまたは選んで表示可能。
- センターメーターはコンソールの全てのバスの一括表示と、
ユーザーが設定できる24×10バターンのメーリングが可能。
- 長時間の作業でも疲れにくい、目に優しい色調を使用した表示系。

オートメーションとマシンコントロール

- 最大4台の外部機器をシンクロナイザー無しで
コントロール可能。
- SSLでは定番のAbs、Trim、Snap、
AutoTakeoverなどの機能と表示。
- MIDIにより外部エフェクターのパラメータも
オートメーションでコントロール可能。

スナップショット

- 62個のスナップショットメモリーを持ち、個別に
任意のパートだけリコールすることが可能です。
- スナップショットシーケンス機能により、シーン
とシーンの間を設定した時間もしくはフェーダー
コントロールで切り替えられます。
- “プロジェクト”という形で、スナップショットのみ
ならずオートメーションやルーティングなど全て
の機能を保存、リコールできます。これにより全
く違った種類の作業への移行も一瞬で行えます。
- コンソールを使用しない“オフラインセットアップ”
機能も装備しています。

デジタルルーター機能内蔵

- チャンネルへのソースの立ち上げやマイクの
ゲインコントロール、及びバス出力のルーティン
グをセンターから一元的に操作可能。
- レンジ機能により、複数のチャンネルへのソース
の立ち上げやバスルーティングを迅速に設定可能。

豊富なバス群

- 48個のマルチトラックバスと12個のメインミッ
クスバスを持ち、グループやミックスマイナスなど
に使用可能。
- 個々のチャンネルはプリ・ポストフェーダーの
ダイレクトアウトを装備。
- 2系統(5.1+ステレオ)のファイナルミックスを
同時に出力可能。
- 24×12のFXリターンマトリックスはステム
ミックスにも使用可能。
- 12個のAuxバスはマルチトラックバス25-48を
使用して拡張可能。

自由度の高い、現代のインライン構成

- クラシッなインラインスタイルのシグナルフロ
ーは、レコーディングを伴うライブプロダクションに
最適です。
- ラージフェーダー、スモールフェーダーどちらから
も同時にメインバスへ出力できるため、コンソール
フレームサイズに対して倍のチャンネル数を扱え
ます。
- 任意のメインバスまたはマルチトラックバスに
ラージフェーダー、スモールフェーダーから個別に
出力できるため、オーディオグループやミックス
マイナスを自由に複数組むことができます。

専用のプロセッシングとコントロール

全てのチャンネルが等しく専用の操作系を持つデザインのチャンネルストリップ
は、全てのセッティング情報が分かりやすく操作しやすいユーザーインター
フェイスです。EQなどのプロセッシングもまた全てのチャンネルストリップ
に常に割り当てられています。

チャンネルストリップには、

- 入力ゲインコントロール
- 専用のメーターとサイドチェーン入力を持つダイナミクス(コンプレッサー、
リミッター、ゲート、エキスパンダー)
- チャンネルバス、またはダイナミクスサイドチェーンにかけられる
ハイパスフィルター・ローパスフィルター
- SSL4000G/Eコンソールのプロファイルとノッチフィルターを持つ
4バンドEQ
- EQ、ダイナミクスパラメーターのプリセットリコールとチャンネル間の
コピー機能
- 自動遅延補正機能を持つインサートポイント
- ステレオリンク可能な12系統のAuxセンドはフェーダーでレベルコントロ
ール可能
- コントロールサーフェイスとDSPとの組み合わせによって、小さいフレーム
サイズのコンソールでも多くのチャンネルを呼び出して使用可能
- GROUP/TAPEモニターバス切り替え
- RECORDボタンは外部レコーダーのトラックアームなどに使用可能
- インラインまたは全く別個のものとして扱えるスモール・ラージフェーダー
- スモール・ラージフェーダーそれぞれに専用のポットを持つステレオ及び
サラウンドバンポット
- SOLOは切り替えによって、AFL、PFLとして使用可能
- チャンネルごとに独立しているモーター付きのラージフェーダーカセットは、
4文字表示とスナップショットプロテクト機能を持ち、インプットレベル表示
とバックストップPFL機能を搭載

モノ・ステレオチャンネル

- どのチャンネルでもいつでも
自由にモノまたはステレオチ
ャンネルへ切り替えが可能。
- Mono L、Mono R 機能。
- ステレオチャンネルでは入力
バランスコントロールや独立
したマイクゲインコントロ
ール、ワイズコントロール機
能を装備。
- ステレオチャンネルではM/S
デコード機能を装備。

包括的なコミュニケーション機能

- レベルと周波数切り替え機能を持つ
内蔵オシレータとトークバックマイク。
- 個別にトークバック機能を持つ3系統の
ステレオフォールドバック。
- レッドライトスイッチ。
- チャンネルのRECORDボタンをマシン
ステータス表示やCUEスイッチとして
使用可能。

サーボまたはVCAスタイルのフェーダーグループング

- フェーダーグループングをサーボ(フェーダーが動く)スタイルかVCAスタイルか
ユーザーが自由に選択可能。
- SSLのサーボグループングはマスターを動かすと同時にスレーブ側も動き、
絶対位置を提示。
- VCAスタイルではマスターが絞られている状態でもスレーブフェーダーの
バランスを確認可能。

映像音声連動機能 (AFV)

- 32本のコントロールマスターフェーダーをGPIに割り付け、外部からの信号で
コントロール可能。
- フェーダーレベルは外部信号により、その時の状態とOFF(絞りきり)とを切り替え。
- フェーダーのグライドタイムはユーザーが設定可能。
- AFV機能のマスターイネーブルスイッチも装備。

包括的な5.1及びステレオモニタリング機能

- 2セットの5.1モニターと2セットのステレオモニター
出力を持ち、PFL割り込みなどの機能を設定可能。
- 放送で求められるMainとMiniを同時に使用する
機能も装備。
- 2×12系統のエクスターナルモニターセクターは
個々の入力にレベルコントロールを持ち、サミング
も可能。
- サラウンドエンコーダー・デコーダーのための
モニターインサートを装備。

センターコントロールスクリーン とタブレット・キーボード

- センターのLCDにコンソールのセッ
トアップ情報を表示。
- トラックボールとワイヤレスキーボ
ードで情報の入力や UltiPan™などの
機能进行操作可能。
- LCDは1系統の外部入力と切り替え
て使用可能でDAWなどの画面を
表示可能。

Broadcast Features

Service and support

- ホットスワップ可能なフェーダーカセット。
- コンソールの構成部品は全てコンソールの前面からアクセス可能。
- メンテナンスの容易なシンプルな接続。
- ローカルまたはリモートによるコンソールの監視機能。
- SSLのワールドワイドなサポート体制。



Mobile configurations

C200 HDモバイル仕様は、48チャンネルストリップサイズのコンフィグレーションで（105フェーダー）、2344mm幅に収められます。

中継車などのアプリケーションに向けて、モバイル仕様では48フェーダーコンソールが通常のトラックに積めるよう全幅を387mm縮めました。

通常のセンターセクションの幅をほぼ半分にし LCDモニターやトラックボール、キーボードなどを外部に設け、各ベイ(334mm)の48フェーダープラスセンターセクション、そこに両端のトリムの厚さ3mmを加えトータル2341mm幅となります。

Broadcast specific operation includes:

- メイン、ミニ、PFLモニターを同時に組み合わせて使用可能で、複雑なモニタリング環境に対応します。
- コンソールのステータス変更やSolo-in-place機能、オートメーション機能を禁止するステータスロック機能を装備しています。
- インライン構成のシグナルフローにより、多数のミックスマイナスやクリーンフィード、マルチトラックセンドを構成できます。
- ルーター機能内蔵により効率的なソースのハンドリングを実現。またセレクトプリセット機能により複雑な作業を簡単迅速に切り替え可能です。
- モノまたはステレオの素材をどのチャンネルストリップにでも自由に設定可能です。
- バックストップPFL機能により、フェーダーを手前に引くだけで簡単にPFLモニタリング可能です。
- 専用のチャンネルメーターにより常時信号を監視できます。

Weight and rack space savings

コンソールの重量は設計の見直しと取り外し可能な脚によって軽量化が図られています。また、全ての制御やオーディオ入出力は15UサイズのCenturiコアユニット1台に収められています。

リモートのステージボックスは1台のユニットで24または48入力をサポートし、外部インターフェイス無しに直接ファイバーで接続されます。

ポストプロダクションに対応した機能

コンパクトなコンソールでも大量の素材をミックスすることが可能

- パーチャルベイ機能によって、“隠れている”プロセスチャンネルをセンターのマスターベイに呼び出して使用できます。
- コンソールフレームはカスタマイズ可能で、DAWのコントローラーをコンソールに埋め込むなど使いやすい仕様を設計することができます。

シンクロナイザー機能を内蔵

- 4つのシリアルマシンコントロールポートを持ち、VTRなどの機器のトランスポートやトラックアミング、オフセットなどをコントロールすることができます。
- 専用のタイムコードメモリーキーによって、記憶させたシーンへ簡単にロケーションすることができます。
- トラックボール・キーボード、LCDモニターを切り替えることによって、エディット作業とミックス作業をシームレスに移行できます。

ポストプロダクション作業の効率を飛躍的に向上させる強力な

オートメーションシステム

- ノンリアルタイムダイナミックオートメーションシステムはコンソールがどんな状態でも(停止していても！)データを書き込むことが可能です。

- Join機能によってリハーサルとシーンにあわせた書き込みが簡単に行えます。
- オートメーションのオフラインエディット機能によって、シーンの移動や削除といった変更に対応できます。
- 全てのオートメーション機能、データはプロジェクトに保存され、いつでも呼び出すことが可能です。

マルチフォーマット対応のチャンネル、バス、モニタリング

- パラメータリンク機能によって、複数のチャンネルをリンクさせ、1つの素材(例えば5.1システム)として扱うことができます。
- ユニークなPanPoint™機能は、画面からパンニングをコントロールします。
- サミング機能を持つエクスターナルソースセクターと5.1/ステレオモニタリングシステムによって、音楽、ダイアログ、エフェクトといったシステムをミックスしてモニターすることができます。

バリエابلサンプリングレートオペレーション

- 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz及び0.1%のブルアップ・ダウンにネイティブに対応します。
- 全てのデジタル入出力は24Bitで動作するSRCを標準装備し、様々なサンプリングレートに対応します。

C200 HD. This is SSL.

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N

SCI, Japan



TVプログラムとDVDコンテンツ制作の増加から、SCIはまさに音声収録中継車に5.1サラウンドに対応した新しいシステムにアップグレードすべき時だと考えました。C200は中継車のような限られたスペースに完全にフィットする、コンパクトで強力であり理想的なコンソールでした。

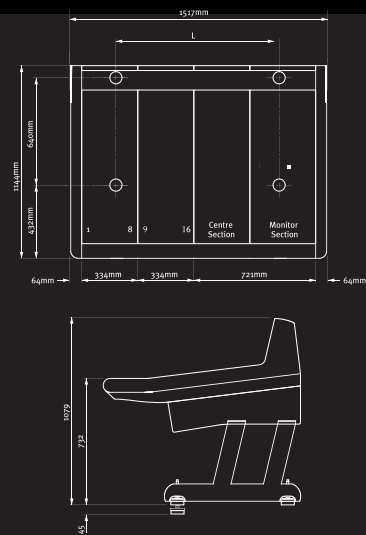
Fox, USA



FOXのオンエア・プロモーション部は一週間に100を超える広告を制作しています。複数のC200コンソールはDAWと組み合わせられ、完全にランダムアクセスできる環境を実現しています。これだけ大量な仕事量をこなすには高い信頼性と効率が不可欠です。

Physical and Environmental Specification

Max Height	1124mm (44.25")
Max Width (see diagram)	
Each channel bay adds	334mm (13.15")
End trim adds	128mm (5.04")
Max Depth	1144mm (45.04")
Height Adjustment	±22.5mm (±0.9")
Weight (48 channels)	~354kg (~780lbs)
Each (inc. centre)	~40kg (~88lbs)
Legs add	~33kg (~73lbs)
Power (40ch with 100-240V AC)	<1.2kW
Continuous (dependent on frame size)	
Cooling Method	Convection (silent)



Solid State Logic

International HQ: Begbroke, Oxford, England OX5 1RU · Tel +44 (0)1865 842300 · Email sales@solid-state-logic.com
 France: 7 bis de la Victoire, 93150 Le Blanc Mesnil, France · Tel +33 (0)1 48 67 84 85 · Email frsales@solid-state-logic.com
 Italy: Via Timavo 34, 20124 Milano, Italy · Tel +39 0392 328094 · Email itasales@solid-state-logic.com
 New York: 320 West 46th Street, New York, NY 10036 · Tel +1 212 315 1111 · Email nysales@solid-state-logic.com
 Los Angeles: 5757 Wilshire Boulevard Suite 401, LA, CA 90036 · Tel +1 323 549 9090 · Email lasales@solid-state-logic.com
 Japan: 3-55-14 Sendagaya, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051 · Tel +81 (0)3 5474 1144 · Email jpsales@solid-state-logic.com

© 2008 by Solid State Logic. All Rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions. **Solid State Logic** and **SSL** are trademarks of Solid State Logic. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Oxford, England. Solid State Logic has a policy of continual product enhancement and reserves the right to alter specifications without notice. E&OE. 09.06.09

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。また性能向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。
 日本語版 Copyright © 2008 Solid State Logic Japan K.K. 28.10.08 jp version reissue 18.05.11

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14 TEL: 03-5474-1144 FAX: 03-5474-1147

C200 HD. This is SSL.

Solid State Logic
 SOUND | | VISION